

仮設アンカー（雪中埋設型）

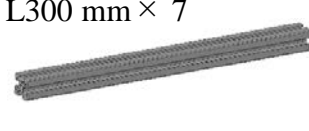
組立説明書

アルミフレーム 5シリーズ 正方形 20×20mm 1列溝 4面溝

L400 mm × 3



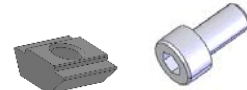
L300 mm × 7



5シリーズ(溝幅6mm)
1列溝用
片側突起付
ブラケット
× 20



アルミフレーム用
先入れナット、ボルト
× 40



組立には
下記の工具
をご用意く
ださい

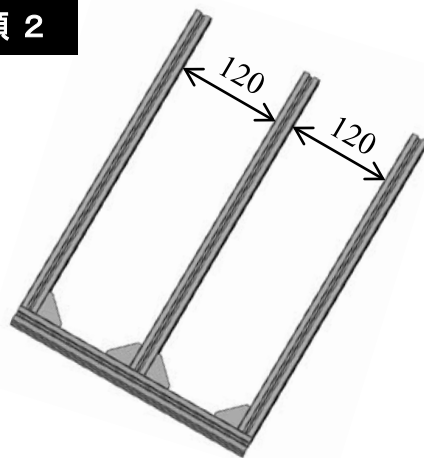
M5用の
六角レンチ

手順 1



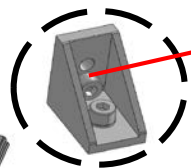
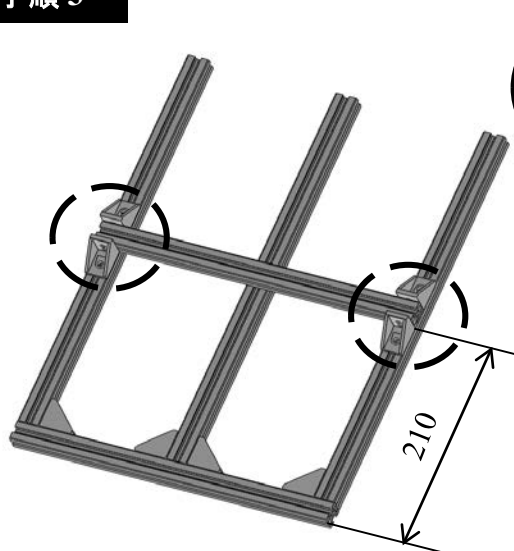
300mmのアルミフレームに
400mmのアルミフレームを
取り付ける

手順 2



120mm間隔で400mmの
アルミフレームを2つ取り付ける

手順 3



ボルトは下の穴に通し
て固定する

400mmのアルミフレームの中央部に
300mmのアルミフレームを固定する

手順 4



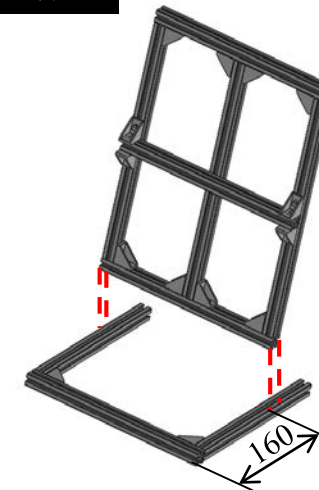
更に300mmのアルミ
フレームを固定する

手順 5



三本の300mmのアルミフレームを
コの字型に固定する

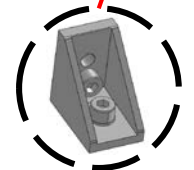
手順 6



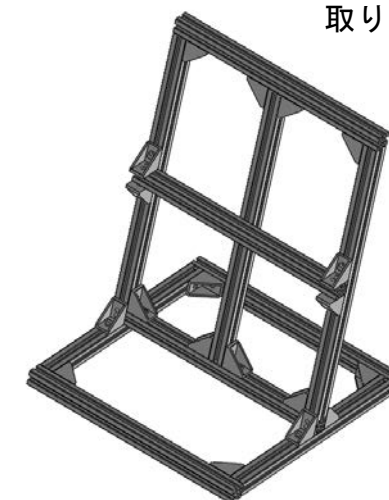
手順4で作ったものを手順5で作った
コの字型フレームに固定する



ボルトは下の穴に通
して固定する



手順 7



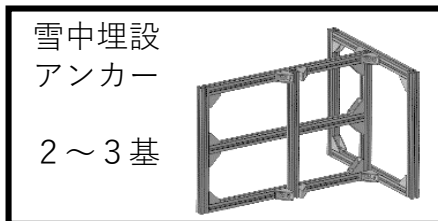
300mmのアルミフレームを
取り付けて完成

※ここに掲載した部品は、
すべてMISUMIで購入可能
です。材料費は合計で約
4,000円です。

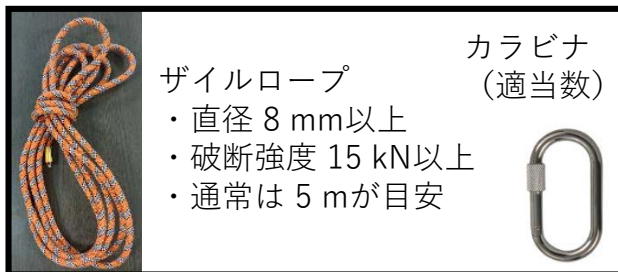
※作業者が自己責任におい
て制作するものですので、
これに関わる一切の事故に
ついては責任を負いません。

仮設アンカー（雪中埋設型）

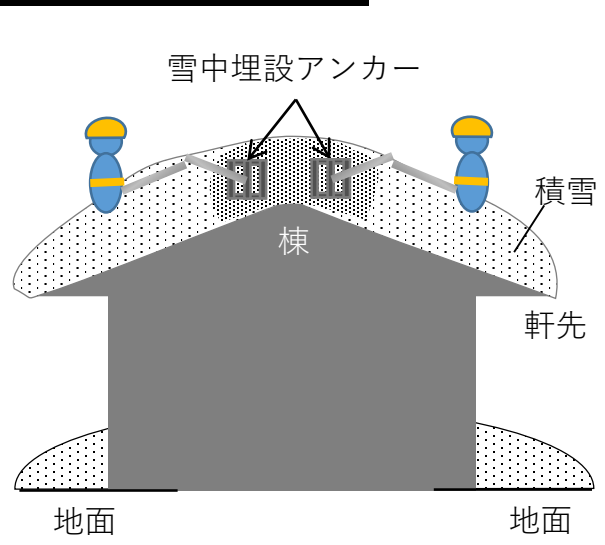
取扱説明書



この文書に書かれた内容は、確実な安全を保証するものではありません。やむを得ない場合の緊急避難的な一つの方法です。あくまで自己責任でご活用ください。



雪中埋設アンカーとは

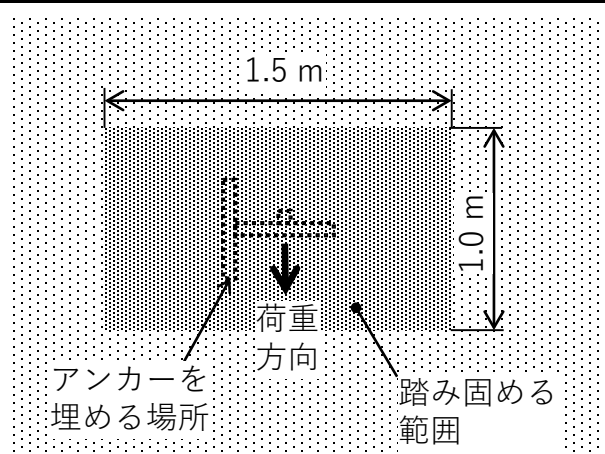


雪中埋設アンカーは、踏み固めた雪の中に埋めて固定するアンカーです。十分な雪の量があれば、1トン近い荷重でも支えられます。

ただし状況によってその強度は大きく変化しますので十分に安全を確認したうえで使う必要があります。

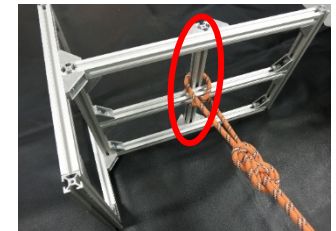
- ・積雪に十分な深さがあること
- ・踏み固めが十分であること（乾いた新雪は固まりません）。
- ・横に荷重がかかるようにすること（上方向には容易に抜けます）。

手順 1：アンカーを埋設する場所の雪を踏み固める



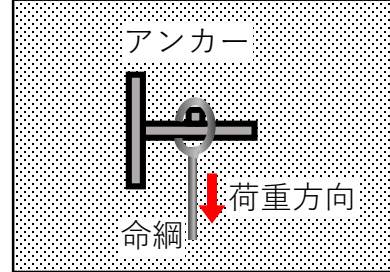
- ①屋根上のアンカー設置位置を決めたら1.0×1.5 m程度の範囲を踏み固める。
- ②踏み固めが終わったら、その中央部にT字型に掘り込む。
- ③アンカーがすっぽりと埋まるだけの十分な深さがあることを確認する。
- ④荷重の方向にロープを引き出す溝を掘り込んでおく。

手順 2：アンカーにロープを結ぶ



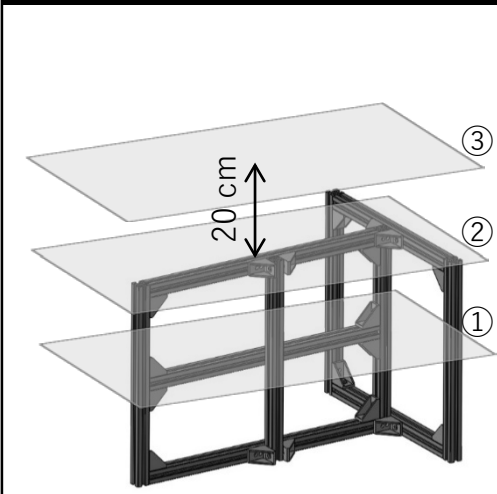
3本の横のフレームすべてに荷重がかかるように、次のようにロープを結んでください。

- ・雪に埋める前に、アンカーに命綱を結ぶ。
- ・命綱はアンカー中央の、縦と横の両方のフレームに巻く（上下左右に移動しない）。
- ・このときの結び方はエイトノットが良い。



アンカーは引っ張る向きが決まっている。縦のフレームが、荷重方向と反対側にくるように結ぶこと。

手順 3：アンカーを埋設して踏み固める



アンカー周囲に雪をかぶせて踏み固めるときは、三回に分けて踏み固めます。

- ①アンカーが半分ほど埋まるまで雪を入れて踏み固める。
- ②アンカーの上端ほど埋まるまで雪を入れて踏み固める。
- ③アンカーの上端からさらに20 cmほどの雪を覆いかぶせて踏み固める

※雪を踏み固めるときの硬さの目安は「手袋をはめた親指で押し込んでも凹まない程度」

手順 4：屋根の上で実際に使う



一人の作業者に一つずつアンカーを設置しても良いですが、複数のアンカーに主綱を結び棟に設置すると、複数の作業者が作業しやすい環境が出来ます。